

【日時】平成31年5月12日 9:00～10:25

【場所】保土ヶ谷公園 管理事務所 会議室 A

【出席者】(以下、敬称略)

市橋、渡邊、和気、貝沼、中村、高橋、鳥谷部、河原、松野、植松、田島、山名、飯島、久野峰、塩島、大郷、加藤、新谷 他 計26名(木下(記))

【議事】

1. 総務委員会

- ・役員会議当日は、全員集合日。総会に参加されていない方の写真を撮影していく。
- ・各パンツ毎の出欠を、早めに共有して、対応していきたい。
- ・会員は現在266名。今年に入り、加入10名(体験13名)、退会5名、休会9名。
- ・新入会員を神惑HPでアップして共有していくことを再開していきたい。
- ・神惑HPでの新入会員からの申し込みを、分かりやすく回収すると共に、ジャージ注文もHPからの申し込みに変更できるか、検討する。

2. 競技委員会

- ・安全推進の強化と初心者(女性会員を含む)が安心して参加できるチーム作りに向けて、主に初心者対応の仕組み・基本方針作りを討議した。
- ・和気委員長を中心に、内容を追加・修正して、神惑HPにアップしていくことを確認した。
- ・当日、出てきた主な意見は、次の通り。
 - ーラグビーの重篤事故は特に頭部と頸部の怪我であり、これらの事故を防止することを念頭に設定する。
 - ー例えば、初心者は、サイエンスF高校の練習に2回以上来て、基礎スキルを学ぶと共に、ラグビーに必要な筋力を鍛えてから、試合に参加していく。
 - ー保土ヶ谷G等での練習でも、初心者に教えるチームを作り、全体とは別メニューで取り組んで頂く時間を設定する。怪我によりコンタクトプレーを回避している人もサポートに加わるが、教える内容に統一性を持たせるため、競技委員が統括する。
 - ー黄パン以上では、練習に参加せずに、試合に参加希望とされる会員も多い。また、練習に参加しても、フル参加とせずに、途中で切り上げる会員も多い。試合では、メンバー不足からそのような方にも出てもらうことが多いが、基本方針を定めておけば、練習に参加しない時に試合に出られないケースに対して、納得度も高まると思う。
 - ー初心者と認識するのに、ビブス着用の案も出たが、通常の格安版は孔に指がかかって危ないため、フィットタイプのビブスを推奨する。その他、コンタクト練習で使うプロテクターを着用する案も出た。

3. 運営委員会

- ・保土ヶ谷Gの2019年度後期 調整会議の結果と、後期保土ヶ谷Gスケジュールを共有した。
- ・用具は、役員会議当日(12日)に第1回確認を行う。年2回、その機会を設ける。

- ・2019年度の安全・ルール伝達講習会での特別公演は、今泉清氏に依頼した。
- ・RWCに関連した国際交流試合は、9月23日 加・米・露の3チームと首都圏連合（不惑・神惑・房惑）の交流戦。不惑俱樂部が中心となり、開催場所を検討中。また、米のチームと、保土ヶ谷 G にて9月29日13-13時に、白紺を中心に交流戦を行う。（日本側は23日と同様に首都圏連合となる予定）
- ・2020年の関東甲信越大会は、日程の2候補のうち、どちらになるか、関係者にG確保を確認していく。
- ・ねんりんピックは、2020年岐阜大会参加に向けたセレクションマッチを12月8日保土ヶ谷 G で行う。（東惑定期戦を兼ねる可能性が高い）

4. 今後の活動スケジュールの確認・共有（詳細はHPなどを参照）

- ・6月2日の八王子不惑との合同練習は、2時間の後半は、白紺で練習試合を行う予定。
- ・6月8・9日の東日本不惑大会は、開催地である岩手・北上のホテルを個別に予約することは困難な状況であるので注意する。事務局を通せば、宿泊場所は確保できる。

5. 神惑創部40周年行事

- ・12月の不惑俱樂部との定期戦を記念試合として、開催日はG確保状況から12月21日とする。
 - ・会長、副会長及び各委員会から、実行委員会を組織して、対応・準備を進める。
 - ・招待チームは不惑俱樂部として、他の招待チームや来賓を招待することは行わない。50周年の時は、それらを再考する。
- （参考：過去の周年行事の事例 30周年 東惑との定期戦と新横浜での懇親会、35周年 房惑との定期戦と中華街での懇親会）
- ・記念パーティーの会場として、クルーズ・クルーズ（横浜スカイビル）を推奨する意見が出た。
 - ・台湾無惑との交流戦の時のように、記念ペナントの作成・授与を検討する。

6. No330 木村浩士（白パン）の近況

- ・以前より状態は改善している。引き続き、回復を応援していくが、見舞金はもう少し回復した後に、有志から集めていく。

6. その他

①県協会評議委員会への参加報告

- ・5月11日に開催。県協会の総会のような場。
- ・県内の登録チームは、現在147チーム。8年前より半減の状況。
- ・役員の改選もあったが、主要メンバーは留任した。

②「ラグビー発祥地 横浜」の記念碑建立募金（1口5000円）

- ・神惑としては、クラブ委員会経由で提出している。
- ・上記の他に、会員数名が申込済。募金者は、碑に名前が刻まれる。

③熊惑との定期戦

- ・現在は、赤UPのみ実施しているが、白紺も復活していく話が挙がっている。

以上